

女性獣医師活躍推進への対応について

令和3年5月13日現在

事 項 名	課 題	実施・対応状況（令和元～2年度）
<p>1 平成27年の提案</p> <p>1 女性獣医師の活躍推進のための理解醸成</p> <p>(1) 雇用者等の理解醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの開催 ・その他の取組み コンプライアンス意識向上のための手引書の作成 <p>(2) 獣医学生の理解醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催に係る工夫や大学との相談 ・講師の負担軽減 <p>2 仕事を続けやすい環境づくり</p> <p>(1) 勤務形態の多様化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者側の対応の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムに関心が低く参加されない方々への伝え方の工夫が必要。 ・ポータルサイトの掲載資料をより使いやすく整理、充実させることが必要。 ・労務管理関係法令等に関する手引書は、小動物診療分野を対象に作成することが必要。 (地方獣医師会における取組みを優良事例としてサイトに掲載すること等も重要) ・学生のアンケートを分析し、大学の要望も聴取し、関心を持っていただく工夫が必要。 ・日獣の解説では、働き続ける必要性を簡潔に伝えられるよう、講師との事前打合せ等も検討。 ・日獣の使命・役割を簡潔に説明し、獣医師会への加入意識向上への対応の工夫も必要。 ・特に、小動物診療分野の短時間勤務等のワークシ 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度日本獣医師会獣医学術年次大会 市民公開シンポジウム：「獣医師の働き方改革、新たなステージへ 一乗り遅れないためのヒントー」 ○シンポジウムを市民公開講座とし、自由な参加を促すこととし、その紹介をHPに掲載したほか、地方獣医師会、日本獣医師会雑誌への情報提供を行った。 ○これまでの掲載資料について整理し、報告書、シンポジウム等をわかりやすく紹介した。 ○地方獣医師会の取組みの例を紹介（準備中）。 ○手引書の作成（専門家に依頼）については引き続き検討する。 ・令和元年度：各大学にセミナー開催に係る情報を前年度末に知らせ、当年度カリキュラムへの対応（授業等の一環としての開催の検討）を依頼した。 →「男女ともに獣医師として活躍を続けるためのセミナー」を開催 (16大学、774名参加：授業等対応14大学、放課後等対応2大学) ・令和2年度：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、オンデマンド配信とし、令和3年1月25日に16大学に周知依頼をした。 →「男女ともに獣医師として活躍を続けるためのセミナー」をオンデマンド配信にて開催（16大学、延べ267名視聴） ○セミナー開始前に大学から要望を聴取。 講師の実体験、育児制度の活用等体験を具体的に説明していただいた。 ○働き続ける必要性を前段に説明（プレゼン資料の修正）、講師へは事前に日獣説明資料を提示。セミナー開始前に打合せを実施した。 ○日獣の使命・役割を整理して説明した。 ・令和元年度は、一部の講師に負担が集中しないよう、委員の推薦等を含む講師に依頼して対応（委員9名、委員以外の講師11名）した。 ・令和2年度は、前年度の講師を中心に撮影を依頼した。 ・優良事例として、平成27年度以降開催されてきたシンポジウム、獣医学生向けセミナ

<p>(2) 出産休暇・育児休暇が取りやすい環境の整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材バンクの設立に向けた検討の継続 <p>3 復職しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性獣医師等就業支援研修の開催 <p>・研修受講希望者の把握と開催情報の伝達</p> <p>・離職中の継続的支援、復職先の情報提供、相談員の配置等</p> <p>4 情報プラットフォームの構築</p> <p>(1) ロールモデル</p>	<p>エアリングについて、地域の獣医師会における情報交換し易い環境づくりの促進が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方獣医師会における具体的検討のために、シンポジウム、獣医学生向けセミナーの使用資料、動画を活用してもらう。 ・優良事例、成功事例等を紹介する。 <p>・人材バンクの設立は難しいとされたが、代替獣医師確保のための何らかの方策の検討が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会 HP の求人情報人材募集ページにおける条件等検索システムの改良が必要。 ・多様な働き方を希望する獣医師と受け入れを希望する雇用者のマッチングが進むよう、HP の求人情報を改良（より細かい条件等の検索ができるようにするためのフォーマットの改良等）することが必要。 <p>・復職を希望している女性獣医師へのアプローチの仕方を検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方獣医師会、大学との連携によるアプローチ、双方向で連絡を取り合える方策の検討等可能などころから実施して試みる必要がある。 <p>・相談員の研修等引き続き検討が必要。</p>	<p>ーにおいて使用されたパワーポイント、動画の活用について紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務・事業推進会議にて情報提供（地方獣医師会に具体的内容を提示した）。引き続き、機会を捉えて情報提供する。 ○アンケート調査で取得した優良事例等を紹介する。 <p>・日本獣医師会 HP リニューアルに伴って、「人材募集ページ」における検索項目の変更を対応中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の委員会においても検討されている。 <p>・令和元年度：「女性獣医師等就業支援研修」の開催について、地方獣医師会、家畜保健衛生所、動物検疫所、農業共済組合等（NOSAI）家畜診療所等、関係団体、関係機関に対して、平成31年4月に協力依頼。（合計4カ所、延べ5名で実施→再就職5名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度：2名から問い合わせがあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できず、eラーニングコンテンツの紹介等により対応。 <p>・地方獣医師会、関係機関等、獣医学系大学等への開催情報の伝達を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度、2年度ともに関係機関の広報誌への開催案内等の掲載を依頼した。 →令和元年度：本会 HP・広報誌（日本獣医師会雑誌）、関係団体の広報誌（家畜診療誌・畜産コンサルタント誌・全国家畜衛生職員会報誌）、商業誌（臨床獣医誌）、1大学の同窓会誌等に紹介記事が掲載。 令和2年度：本会 HP・広報誌（日本獣医師会雑誌）に紹介記事が掲載。 ・大学における求職中の卒業生についての状況把握等についての実態調査を行った。その結果を大学に送付するとともにポータルサイトに公表した。 <p>・他団体等の相談窓口とのリンクを検討（畜ガールズ）</p>
--	--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・小動物診療分野のロールモデルの充実 <p>(2) eラーニングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況が確認できるような教材の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな教材の掲載、提供依頼 <ul style="list-style-type: none"> ・世界獣医師会（WVA）のコンテンツの利用促進 <p>(3) 求人情報 2の（2）に記述</p> <p>(4) 相談窓口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小動物診療分野の充実が必要。 <ul style="list-style-type: none"> ・大学や学会で作成された既存の教材の提供を依頼し、掲載する。 ・「ネットで力だめし。獣医師国家試験に挑戦!!」における解説の掲載ができないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・世界獣医師会（WVA）の生涯研修教材は無料コンテンツのみ掲載している。有料コンテンツの利用、日本語翻訳の実施等の検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・本会 HP の求人情報の早急な改善（2の（2）） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性獣医師応援ポータルサイト」でロールモデルを紹介。 ・ロールモデルは、委員、又は委員の推薦した獣医師に依頼。 ・令和元年、2年の新規掲載は産業動物1名、小動物1名。 ・令和3年5月現在39名 (産業動物13名、小動物7名、公務員14名、大学・研究・展示施設5名) ○委員会委員に該当者の紹介を依頼。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ネットで力だめし。獣医師国家試験に挑戦!!」として平成29年度から獣医師国家試験問題と解答の掲載を開始。アクセス数は年々増加。 ・平成24年度～令和2年度の獣医師国家試験問題・解答まで掲載済み。 ○試験問題・回答の掲載を優先し、解説の掲載は引き続き検討する。 ○大学からの掲載情報については、引き続き依頼中。 <ul style="list-style-type: none"> ・「獣医師生涯研修事業Q&A」として、日本獣医師会雑誌掲載情報（産業動物編・小動物編・公衆衛生編）を掲載。 →令和3年5月現在、計63件掲載。 (産業動物編：16、小動物編：31、公衆衛生編：16) ・「女性獣医師の職場の実態や働き方の紹介」の動画を配信 →令和3年5月現在、計19件配信 (産業動物編：6名、小動物編：7名、公務員編：6名) ・eラーニングのページに「女性獣医師活躍推進に関するシンポジウム」を新設。 平成27年度からのシンポジウムの講演動画やスライド資料を掲載（平成31年3月に平成27年度及び28年度の動画やスライド資料を掲載）。 ・平成29年度以降の講演動画、スライド資料は編集・調整後、公表可能となった時点で随時掲載。 ・「世界獣医師会 生涯教育」に日本語によるサイト案内「無料コースの活用とコンテンツ紹介」（利用方法）を掲載。 ○有料コンテンツの使用については引き続き検討する。
---	--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・より相談しやすいよう窓口の改良を検討 ・大学、地方獣医師会の相談窓口とのリンクを検討 ・相談員の委嘱と相談体制の整備（相談員の研修、責任、謝礼等を検討しておく必要） <p>(5) 地方獣医師会等のホームページとのリンク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、協力依頼し、定期的な調査・公表も検討 ・大学、関連団体等へのリンク依頼の検討 <p>2 平成 29 年の提案</p> <p>1 ポジティブアクションの推進（目標の設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方獣医師会の女性役員についての目標の設定を提案 「現在女性役員がいない地方獣医師会は1名は女性とする、いる地方獣医師会は複数名にすることを、2020年頃を目途に目指す」 <ul style="list-style-type: none"> ・獣医学系大学の女性教員数についての現状把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトの「相談窓口」の名称変更等を含め、相談しやすい窓口となるよう改良が必要。 ・日本獣医師会における相談体制の整備・強化、相談員、アドバイザー等の委嘱について検討が必要。 ・地方獣医師会のHPへのリンクの協力要請。 ・獣医学系大学、関連団体等へのリンク依頼。 	<p>○本会HPリニューアル時に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜ガールズ、大学等のサイトの調査を実施。（確認中） ・特別委員会、前期委員会の委員は相談員の委嘱を受けてくださる可能性。 ・獣医学生向けセミナー開催時に大学に、全国獣医師会事務・事業推進会議で地方獣医師会に、HPへの女性獣医師応援ポータルサイトの掲載を依頼。また、地方獣医師会から要望のあった掲載用バナー（形態：大・中・小）を配信し、令和3年5月現在39地方獣医師会がHPリンクしている。 ・大学HPへのリンクはまだない。 ・「現在女性役員がいない地方獣医師会は1名は女性とする。いる地方獣医師会は複数名にすることを、2020年頃を目途に目指す」ことを平成29年第6回理事会で協力依頼したが、さらに令和元年7月開催の令和元年度全国獣医師会事務・事業推進会議で地方獣医師会に説明。 ・令和元年度地方獣医師会総会後の役職員等名簿（令和元年6月現在）の調査の結果、 <ol style="list-style-type: none"> ① 女性役員が一人以上おられる地方獣医師会は39（70.9%） ② 複数おられる地方獣医師会は16（29.1%） ③ 女性役員の占める割合は、全体で7.0%：15%以上の地方獣医師会7（12.7%）、10%以上の地方獣医師会は16（29.1%）、5%以上の地方獣医師会は34（61.8%） →結果をHPに公表（令和元年10月） ・令和2年度地方獣医師会総会後の役職員等名簿（令和2年6月現在）の調査の結果、 <ol style="list-style-type: none"> ① 女性役員が一人以上おられる地方獣医師会は41（74.5%） ② 複数おられる地方獣医師会は19（34.5%） ③ 女性役員の占める割合は、全体で7.7% →結果をHPに公表（令和3年3月） <p>○引き続き調査を行って公表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から教員数の調査を開始。 ・令和元年度は、平成31年4月23日付け事務連絡「獣医学系大学における女性獣医師教員数等の調査について（ご依頼）」により、全国獣医学系16大学あてに調査を依頼
---	--	--

<p>2 男性中心型の制度・慣行見直しのはたらきかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性中心の時代のままになっている制度、慣行、行政指示による対応等について、顕在化したところから具体的な見直しのためのはたらきかけを実施 <p>3 地方獣医師会における取組状況の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方獣医師会へのアンケート調査の実施とフィードバック <p>3の3に記述</p> <p>4 その他（獣医師会の加入率を上げるための対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> 出産、育児、転勤、介護等の事情による休会、異動等の手続き、負担軽減の検討 (地方獣医師会の取組みに対応した日本獣医師会の取組み) <p>3 令和元年の提案</p> <p>1 2030年目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの目標に加え、「2030年までに地方獣医師会の女性役員を30%以上に、女性の獣医師会の加入率を男性獣医師と同じにすることを旨とする」という追加目標を設定 <p>2 日獣ロゴ等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 名刺へのロゴの印刷、バッジの着用により、獣医師としての社会的な自覚・誇りを共有し、加入促進につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善申し込み等のはたらきかけを行った後の実施状況の確認が必要。 	<p>し、HPに結果を公表した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、令和2年6月5日付け事務連絡「獣医学系大学における女性獣医師教員数等の調査について（ご依頼）」により、「女性獣医師の活躍推進・男女共同参画に対する取組について」も併せて調査を実施し、HPに結果を公表した。 <p>○引き続き調査を行って公表する。</p> <p>○引き続き行う。</p> <p>○総務委員会で検討中。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度第5回理事会において話題提供として提案した後、事務・事業推進会議で説明し、シンポジウム（東京）において再度提案。 地方獣医師会における女性役員は、平成30年度：58名（5.9%）、令和元年度：68名（7.0%）、令和2年度：75名（7.7%）。 獣医師会への加入率は、平成28年度：男性79%・女性43%、平成30年度は男性76%・女性44%と大きな変化がない。 ロゴデザイン転用の承認通知を受理（平成31年4月4日）、希望する会員は自由に名刺等に名刺等にロゴマークを印刷できるようにした。 令和元年7月12日付け事務連絡「日本獣医師会ロゴマークの会員構成獣医師による名刺への使用推進について」をもって、地方獣医師会会員が名刺等に本会ロゴを使用に
---	---	---

<p>3 地方獣医師会の定期アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度実施される地方獣医師会への定期調査のうちの1つとして継続して実施有用な事例（特に小動物診療分野の）を紹介し、全体的な取組みを推進する。 		<p>について許諾した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本獣医師会 HP からロゴマークをダウンロードできるようにする。（確認中） <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年6月11日付け事務連絡で、平成28年から実施してきた調査内容を追加・変更して協力を依頼。調査結果を7月の全国獣医師会事務・事業推進会議で概要報告するとともに各地方会に送付。HPに掲載（令和元年10月）。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で地方獣医師会への調査は見送った。 ○本会の定期調査として、引き続きアンケートの協力を依頼する。
--	--	--